

次回は「2009夏の特大企画」(水) 第二弾開催!!

院内感染を起こした「銀座眼科」と溝口朝雄院長
がレーシック手術によって急速に悪化してしまった。

「眼球がいつも揺れている感じで、座つても体に震えが出てしまい、動かすと『ボリッ』と音がする」と。いまは脈が弱くなっている、安静にしていました。

レーシックによる後遺症は必ずしも検査値だけに表れるものではない。人間は八割の情報を目から得るだけに、その異常が体に与える影響は極めて大きく、生活に支障をきたし、職を失うケースもある。

今回取材した患者九人は、いずれも未だ目の健康を回復することができず、通院生活や病院を探す「難

学校に通っていたのですが勉強に集中できない。体力的にも限界で、学校を辞め治療に専念しようかなと考えています……」

「安心安全」なはずの手術で、なぜこのような不具合が発生するのか。角膜にレーザーを当て、光の屈折を矯正することで視力を回復させる手術である。

レーザーの照射時間が長いほど矯正も強くなるが、その分角膜は削れて薄くなる。

レーシックの後遺症に苦しむ患者の診察をしているある眼科医は、遠視や調節緊張になる原因は視力を出しすぎることに問題があると指摘する。



まいました
……
恐ろしいこ
とに、視力障
害による眼精
疲労が蓄積す
ると自律神経
失調症を発症
する場合もあ
る。田村さん

の場合も、自律神経失調症がレーシック手術によって急速に悪化してしまった。「眼球がいつも揺れている感じで、座つても体に震えが出てしまっています。目を動かすと『ボリッ』と音がする」と。いまは脈が弱くなっている、安静にしていました。

レーシックによる後遺症は必ずしも検査値だけに表れるものではない。人間は八割の情報を目から得るだけに、その異常が体に与える影響は極めて大きく、生活に支障をきたし、職を失うケースもある。

今回取材した患者九人は、いずれも未だ目の健康を回復することができず、通院生活や病院を探す「難

状が共通しています。手元が見えない。中間距離が見えない。車酔いのような頭痛、吐き気。そのほとんどがそもそもレーシックとは角膜にレーザーを当て、光の屈折を矯正することで視力を回復させる手術である。

レーザーの照射時間が長いほど矯正も強くなるが、その分角膜は削れて薄くなる。

レーシックの後遺症に苦しむ患者の診察をしているある眼科医は、遠視や調節緊張になる原因は視力を出しすぎることに問題があると指摘する。

「うちに入る患者はみな症状が見えます。手元が見えない。中間距離が見えない。車酔いのような頭痛、吐き気。そのほとんどが『過矯正』が原因です」

日本眼科学会常務理事の筑波大学・大鹿哲郎教授はこう解説する。

「手術の翌日からクリアに矯正で2・0の視力を求めてはいけないので」

視力2・0見え過ぎる苦しみ

だがレーシック手術の広告では声高に2・0への視力回復が語られているケースが多い。例えば品クリードは中等度近視の手術データとして、視力2・0が五一・八%、視力1・5が四三・二%などと宣伝している。

「私たち、見た目は普通の健康な人に見えるため、苦しみがなかなか他人には理解されません。外からは見えにくいくらい、特殊で深刻な痛みに苦しんでいることを知りて欲しい」

レーシック手術に詳しい、名古屋アイクリニック中村友昭院長は警鐘を鳴らす。「レーシック手術を行なうときは、手術した医師に一生診察してもらえる施設を選んでいただきたいですね。レーシックも手術ですから、術後の管理がとても重要になります。健診などで社会復帰をすることが大切なのです。そこをみんな理してもらいたい」

バラ色の未来が宣伝されたレーシック手術の暗部。しかし、これらは決して特異なケースというわけではない。前出・眼科医が語る。「日本では世界で類を見ないほど短期間にレーシック手術が量産されています。本来、患者に適応した視力手術を行なえば、

見えることを求めると、過

矯正になりやすい。翌日クリアに見えればハッピーと思えるかもしれません。その状態が続くと疲れてしまうのです。2・0の度数に合わせた眼鏡をかけると

・9あたりのほうが快適なのです」(同前)

つまり、ゴルフアーチ野球選手のように遠くを見る

見えることになると、過

矯正になりやすい。翌日クリアに見えない。中間距離が見えない。車酔いのような頭痛、吐き気。そのほとんどが

見えていません。手元

が見えない。中間距離が見えない。車酔いのような頭痛、吐き気。そのほとんどが

見えていません。手元

が見えない。中間距離が見えない。車酔いのような頭痛、吐き気。そのほとんどが